

## 2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	言語発達障害学(自閉症)	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1)
対 象 学 年	1年生	学期及び曜時限	後期	教室名	702教室
担 当 教 員	高松光雪				
実務経験とその関連資格	<p>言語聴覚士として神戸市立心身障害福祉センターにおいて自閉スペクトラム症児、知的障害児、限局性学習症の言語指導・コミュニケーション指導に5年間従事、同時に西宮YMCAのLDクラスを担当し、LD児の学習指導に2年間従事。</p> <p>2000年4月～言語聴覚士養成校にて教員を20年間(内2005年～2019年 大阪医療福祉専門学校 言語聴覚士学科 学科長)</p> <p>現在、川西市の児童発達支援センターにて保護者支援とSTへの助言、猪名川町保健センターにて「ことばの教室」での発達相談の講師として従事。</p>				
《授業科目における学習内容》	<p>自閉スペクトラム症の特性(DSM-5・ICD-10)と診断基準を学び、評価方法、指導方略を考える。 実際の指導を想定した指導教材を考えてみる。</p>				
《成績評価の方法と基準》	<p>定期試験70% レポート30%(感想や症例報告等)</p>				
《使用教材(教科書)及び参考図書》	<p>プリント(講義資料)使用 参考文献:標準言語聴覚障害学「言語発達障害学」第3版</p>				
《授業外における学習方法》	<p>毎回の講義資料のファイリングと重要ポイントを資料と講義内容からまとめておくこと。</p>				
《履修に当たっての留意点》	<p>発達障害の一つである自閉スペクトラム症の理解を深めることは、共生社会にとっても重要です。そのなかで言語聴覚士の役割を深く学び、支援の方法を考えていただきたい。</p>				
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	実際の自閉スペクトラム症の動画を見て障害像をイメージすること。	DVD 資料	なし DVD視聴の感想を提出	
	各コマにおける授業予定	自閉スペクトラム症概論(個人ワークとグループワーク)			
第2回	授業を通じての到達目標	自閉スペクトラム症の診断の基準を理解する。	資料	復習)診断基準をまとめる	
	各コマにおける授業予定	自閉スペクトラム症概論と診断基準			
第3回	授業を通じての到達目標	当事者の抱えている問題を理解する。	資料	復習)特徴を整理しておく DVDのまとめを提出	
	各コマにおける授業予定	自閉スペクトラム症の特徴(当事者の著書より)DVDからASDを診る			
第4回	授業を通じての到達目標	当事者の問題を多角的に学習する。	DVD 資料	復習)GWをまとめておく	
	各コマにおける授業予定	DVDからGW～発表			
第5回	授業を通じての到達目標	自閉スペクトラム症の言語・コミュニケーション・認知の特徴を理解する。	資料	復習)言語・コミュニケーションの問題の整理	
	各コマにおける授業予定	自閉スペクトラム症の言語・コミュニケーション・認知の特徴			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	自閉スペクトラム症の言語・コミュニケーション・認知の特徴を理解する。 心の理論を理解する。	資料	復習)言語・コミュニケーションの問題の整理
	各コマにおける授業予定	自閉スペクトラム症の言語・コミュニケーション・認知の特徴② 心の理論とは		
第7回	授業を通じての到達目標	自閉スペクトラム症の社会性の問題を理解する。	資料	復習)社会性の問題の整理・ポイントを押さえておく
	各コマにおける授業予定	臨機応変な対応の遅れとは？感覚運動の特徴		
第8回	授業を通じての到達目標	自閉スペクトラム症の子どもの評価方法を体験する。	DVD 資料	復習)評価方法の整理
	各コマにおける授業予定	DVDから評価する		
第9回	授業を通じての到達目標	エピソードから自閉スペクトラム症児の評価を体験する。	資料	復習)評価方法の整理
	各コマにおける授業予定	エピソード分析		
第10回	授業を通じての到達目標	自閉スペクトラム症の評価方法を体験する。	検査道具 資料	復習)評価方法の整理
	各コマにおける授業予定	自閉スペクトラム症の評価①		
第11回	授業を通じての到達目標	自閉スペクトラム症の評価方法を体験する。	検査道具 資料	復習)評価方法の整理
	各コマにおける授業予定	評価法②		
第12回	授業を通じての到達目標	自閉スペクトラム症の評価方法を体験する。	検査道具 資料	復習)評価方法の整理
	各コマにおける授業予定	評価法③		
第13回	授業を通じての到達目標	自閉スペクトラム症の支援方法を理解する。	検査道具 資料	復習)支援方法のポイントの整理
	各コマにおける授業予定	評価法④(TEACCH)		
第14回	授業を通じての到達目標	相談室の担当児をワークシートでまとめることができる。	資料	復習)ワークシートをまとめ4月からの相談室に備える ワークシートの提出
	各コマにおける授業予定	ワークシートでまとめる(相談室の担当児)		
第15回	授業を通じての到達目標	自閉スペクトラム症の予後を理解し対応の仕方を理解する。	資料	総復習)15コマの講義内容を整理する
	各コマにおける授業予定	二次障害と対応(犯罪から防ぐため)		